

島根県の経済動向

平成24年10月分

統 第 9 7 号 の 9
平成24年12月28日

政策企画局統計調査課

—島根県の経済は、横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる—

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。個人消費は横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	⇒	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.4となり、前年同月比は6.7%と3か月ぶりに前年を上回った。大口電力需要実績は▲1.6%と11か月連続で前年を下回った。 生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～持ち直しの動きが足踏み～	有効求人倍率は0.94倍と2か月連続で下降、新規求人数は3.4%と2か月ぶりに前年を上回った。所得面では、現金給与総額は2か月連続で、きまって支給する給与は、4か月連続で前年を下回った。 雇用情勢は、持ち直しの動きが足踏みしている。
個人消費	⇒	～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～	大型小売店販売額及びホームセンター販売額はおおむね横ばいで推移しているが、家電量販店販売額は▲10.0%と3か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数は、エコカー補助金の終了により▲15.7%と2か月連続で前年を下回った。 個人消費は、横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。
投資動向	⇒	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は36.0%と2か月連続で、公共工事請負金額は13.4%と2か月ぶりに前年を上回り、新設住宅着工戸数は前年同月と同水準であった。 投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	⇒	～倒産件数5件～	企業倒産件数は5件。うち建設業は2件、製造業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年3.2%増～	銀行預金残高は52か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は26か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.6%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.5となり、対前年同月比0.6%と4か月連続で上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成24年12月28日公表）		C1先行指数は62.4となり、7か月連続で下降となった。 C1一致指数は98.1となり、2か月連続で上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成24年12月10日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（24年10～12月期）は▲6.9%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 〔先行きについては、翌期（25年1～3月期）に「下降」超幅が拡大し、翌々期（25年4～6月期）は「上昇」超に転じる見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	92.9	94.4	94.1	90.5	93.7	98.4
	" (原指数)	1.9	▲0.3	6.1	▲4.6	▲1.2	6.7
	大口電力需要実績	▲1.5	▲2.7	▲1.0	▲1.8	▲2.7	▲1.6
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.07	0.95	0.95	0.97	0.96	0.94
	新規求人数	19.2	▲5.2	8.2	10.5	▲0.8	3.4
	常用労働者数	▲1.2	▲1.9	▲2.6	▲2.6	▲3.0	▲3.0
	現金給与総額	0.8	8.0	▲8.8	2.2	▲2.7	▲1.9
	きまって支給する給与	0.5	2.0	▲0.1	▲1.0	▲2.2	▲1.3
	所定外労働時間（製造業）	▲20.7	▲13.9	▲9.9	▲10.8	▲16.5	▲28.7
個人消費	大型小売店販売額	▲1.1	▲1.5	▲2.5	1.2	▲0.4	▲1.0
	ホームセンター販売額	2.0	▲0.7	▲0.9	3.1	0.0	▲4.1
	家電量販店販売額	▲28.2	▲36.3	▲12.7	7.0	2.8	▲10.0
	乗用車新車登録台数	65.0	32.6	37.9	13.6	▲5.8	▲15.7
	出雲空港利用者数	17.2	10.2	12.2	10.7	15.1	0.9
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	0.8	▲24.3	▲46.8	▲14.5	22.8	36.0
	公共工事請負金額	59.0	▲26.4	10.7	10.9	▲27.1	13.4
	新設住宅着工戸数	32.4	15.7	▲43.8	17.2	18.7	0.0
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	2	0	5	6	5	5
	* 負債総額（百万円）	103	0	216	515	274	328
金融情勢	銀行預金残高	0.8	2.4	0.6	1.6	2.8	1.5
	銀行貸出金残高	2.2	2.8	2.4	3.0	2.7	3.2
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.1	99.8	100.2	100.4	100.4	100.5
そ の 他	* 景気動向指数（CI先行指数）	80.2	77.1	77.0	72.4	71.2	62.4
	* 景気動向指数（CI一致指数）	105.8	96.6	104.3	94.4	94.9	98.1

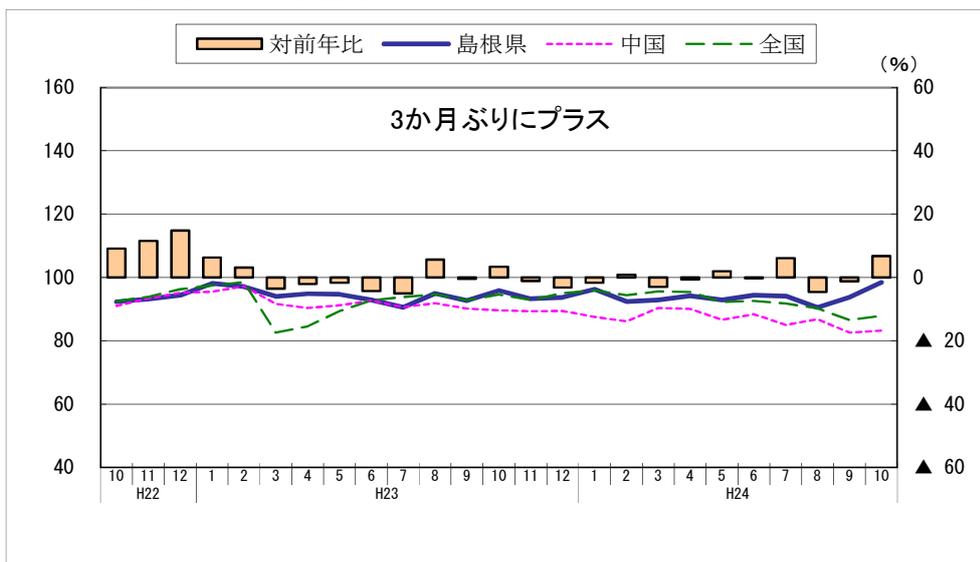
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成24年12月21日
	<p>景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出は、このところ緩やかに減少している。生産は、減少しているものの、そのテンポは緩やかになっている。 ・ 企業収益は、製造業を中心に弱含んでいる。設備投資は、弱い動きとなっている。 ・ 企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。 ・ 雇用情勢は、依然として厳しさが残るなかで、このところ改善の動きに足踏みがみられる。 ・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面は弱さが残るものの、復興需要が引き続き下支えするなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き、デフレの影響等にも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成24年12月18日
	<p>～ 弱含み ～</p> <p>中国地域の経済は、個人消費は横ばいであるものの、引き続き、景況感が弱含み、生産が低下傾向など、全体として弱含み。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…低下傾向 2. 景況感…弱含み 3. 産業用電力需要…減少 4. 物価…下落 5. 個人消費…横ばい 6. 設備投資…やや減速感 7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加 8. 雇用動向…厳しい状況変わらず、足踏み 9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加 10. 貿易…輸出、輸入ともに減少
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2012年12月3日
	<p>山陰両県の景気は、弱めの動きが幾分広がっている。すなわち、生産は、海外向け需要などの減速感がやや強まっている中で、弱めとなっている。個人消費は、弱めの動きがみられている。公共投資は、下げ止まっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。住宅投資は引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。この間、雇用・所得情勢は、厳しい状況にあり、持ち直しの動きにも一服感がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、海外向け需要などの減速感がやや強まっている中で、弱めとなっている。 ・ 個人消費は、弱めの動きがみられている。 ・ 公共投資は、下げ止まっている。 ・ 設備投資は、緩やかに持ち直している。 ・ 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。 ・ 雇用・所得情勢は、厳しい状況にあり、持ち直しの動きにも一服感がみられる。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2012年11月29日
	<p>設備投資は回復しているものの、個人消費や生産は低調に推移するなど、総じて減速傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、水準は低いながらも持ち直しつつある。 ・ 設備投資は、2012年度は製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画（企業動向調査9月）。 ・ 住宅建設は、一進一退の動きとなっている。 ・ 個人消費は、一部で底入れの兆しがうかがえるものの、総じて低調な推移となっている。 ・ 生産は、海外景気の減速から輸出関連を中心に弱含んでいる。 ・ 雇用情勢は、島根県は概ね横ばいとなっている。 ・ 企業の業況判断は、足元（2012年度上期）、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業で悪化（▲6.3→▲21.1）となった。先行き（2012年度下期）については、製造業、非製造業ともに改善を予想しており、全産業で改善（▲21.1→▲8.4）の見通し（企業動向調査9月）。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成24年10月31日（四半期ごとに公表）
	<p>～ 県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、おおむね横ばいとなっている～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 緩やかに持ち直してきているものの、一部に弱い動きがみられる。 ・ 生産活動 一部で減速感がみられるものの、おおむね横ばいとなっている ・ 雇用情勢 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 24年度は減少見通し ・ 企業収益 24年度は増益見通し

経済指標の推移

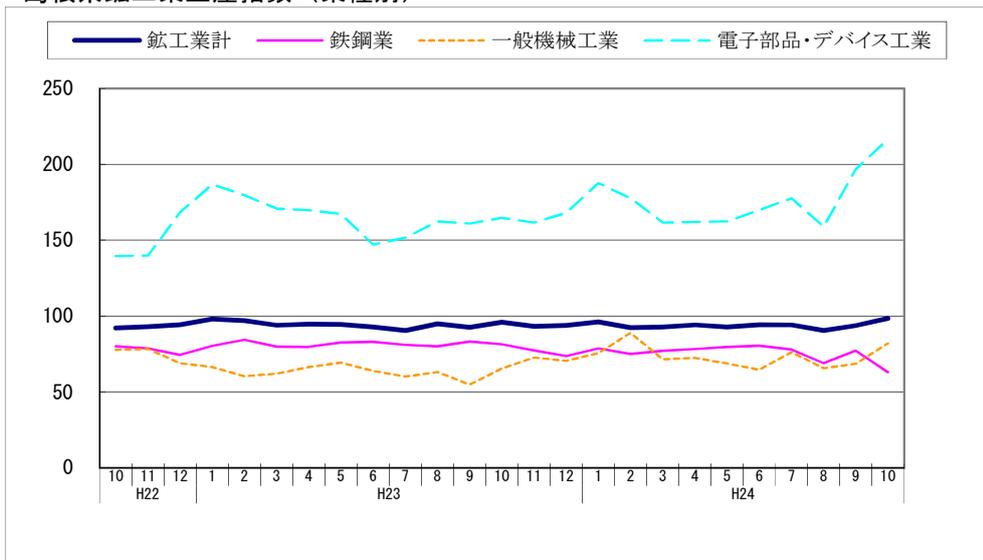
【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



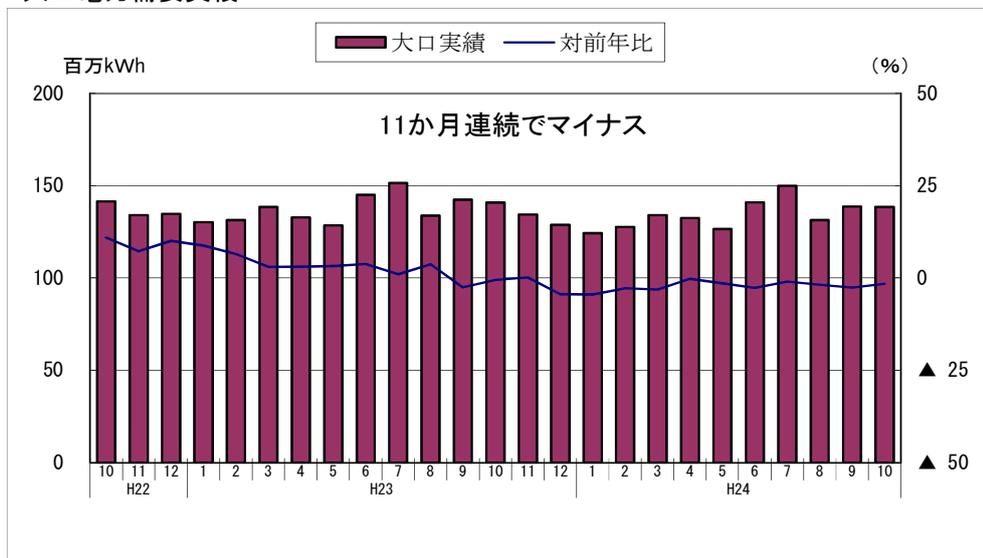
(注) 対前年比は、島根県の原指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

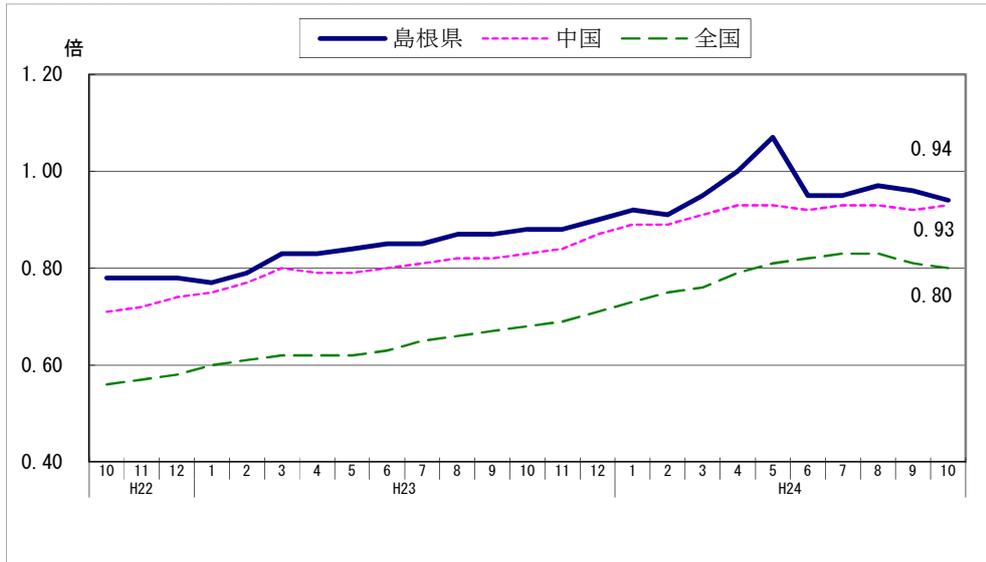
大口電力需要実績



(中国電力株)

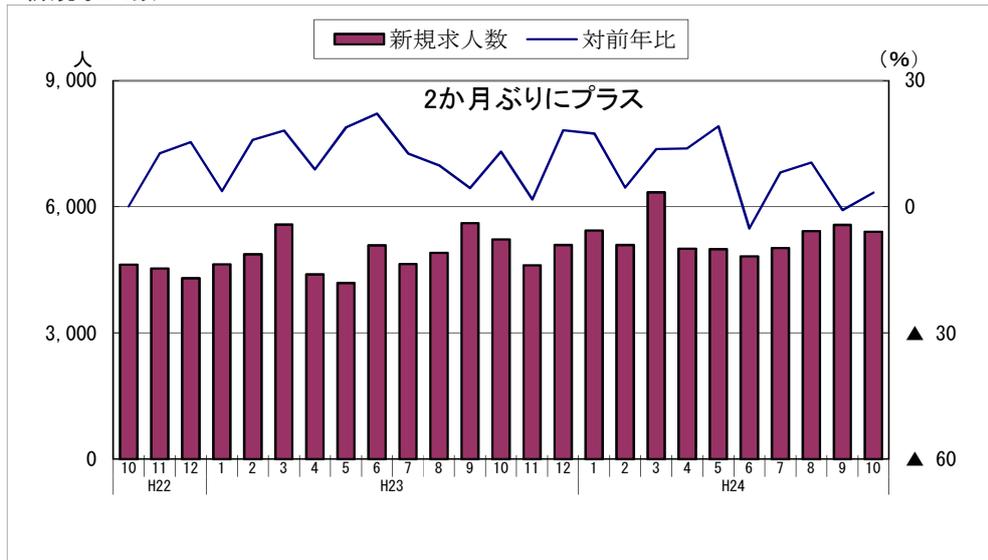
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



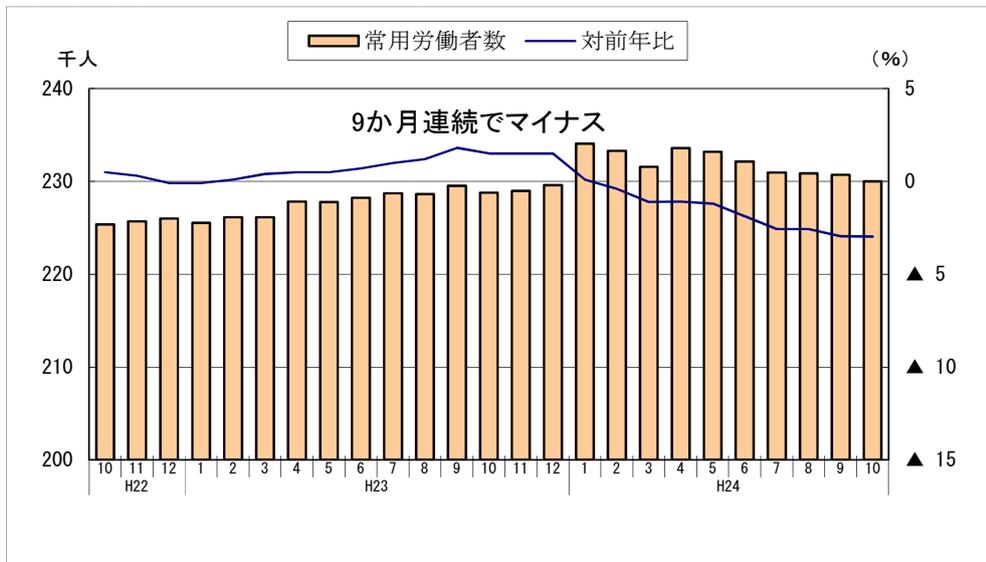
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

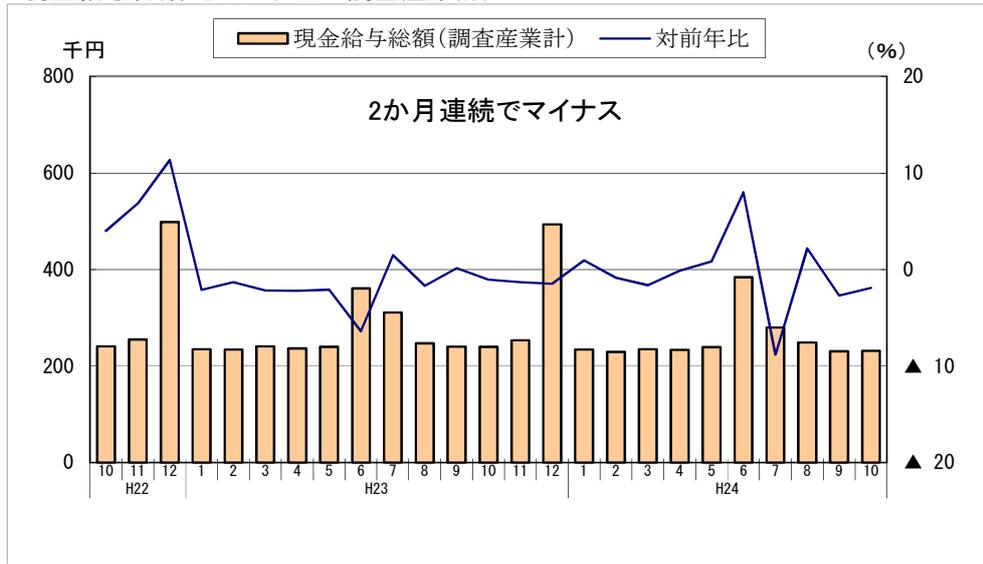
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

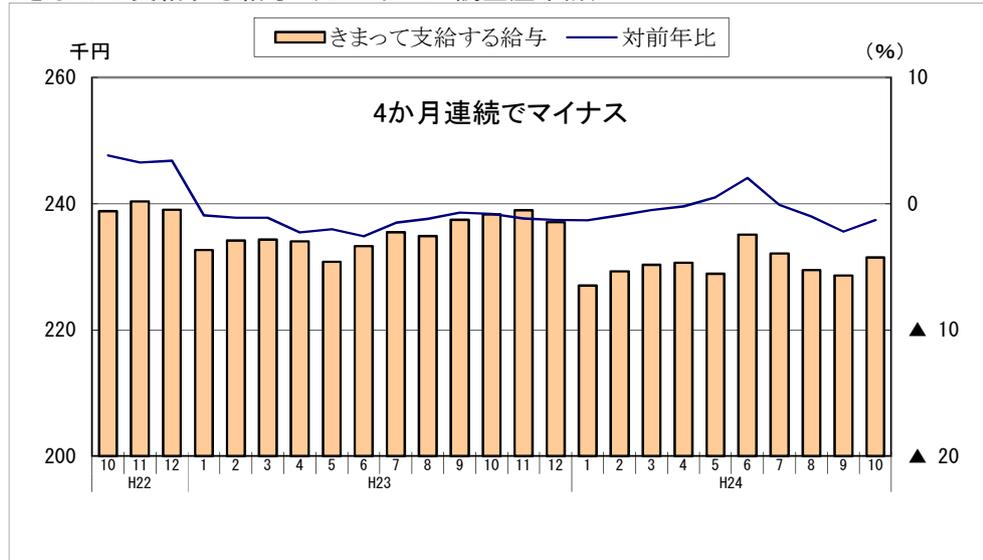
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



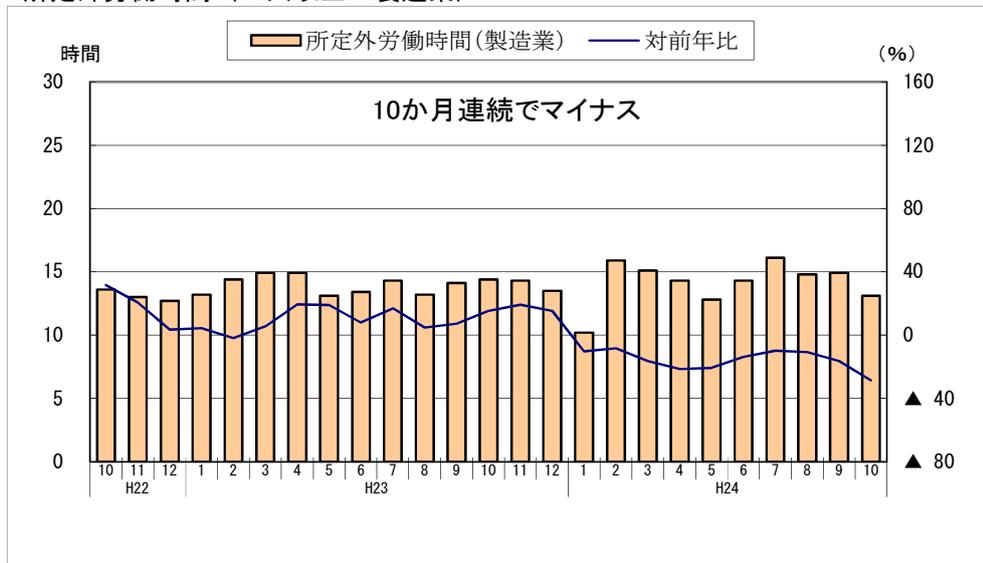
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

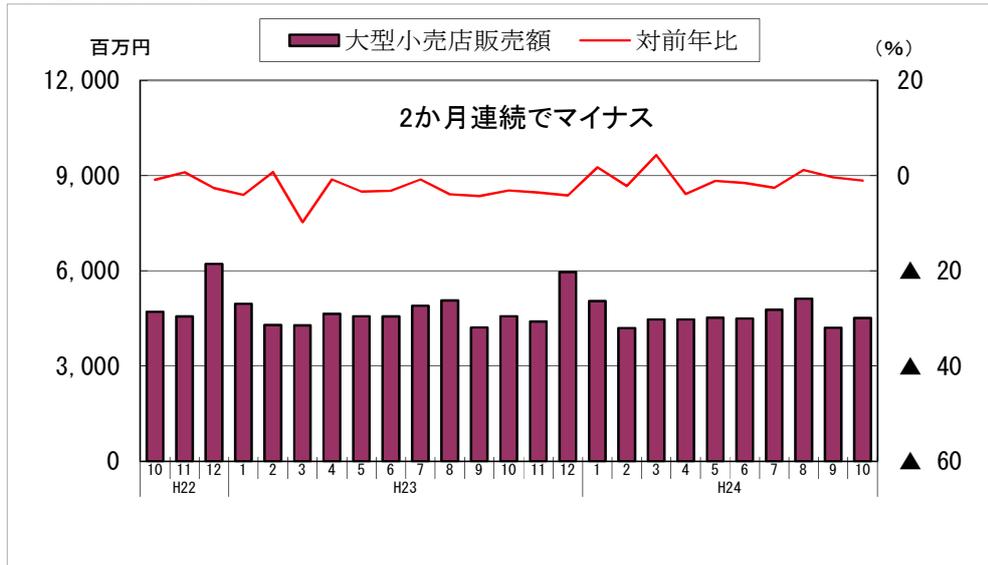


(県統計調査課)

【 個人消費 】

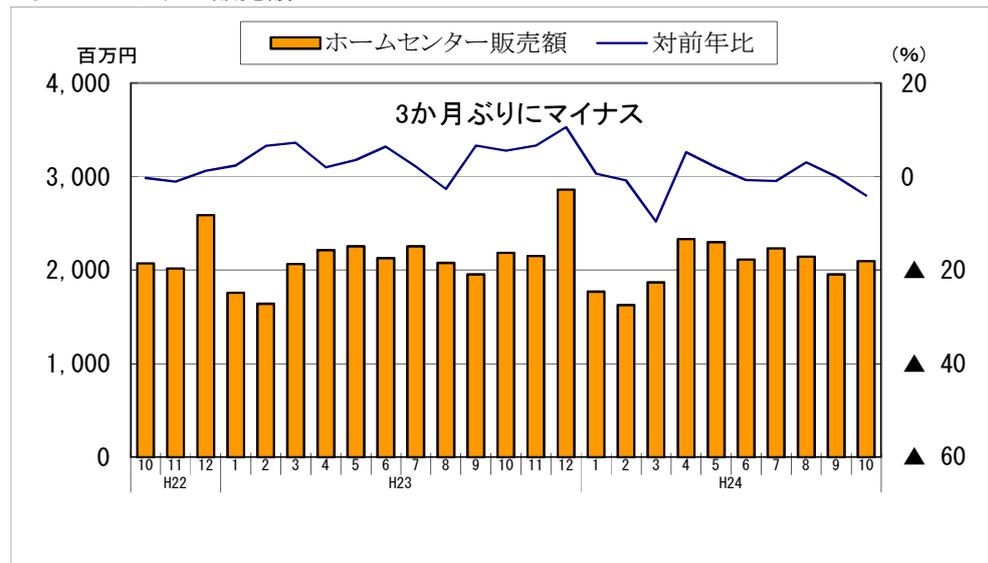
～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～

大型小売店販売額



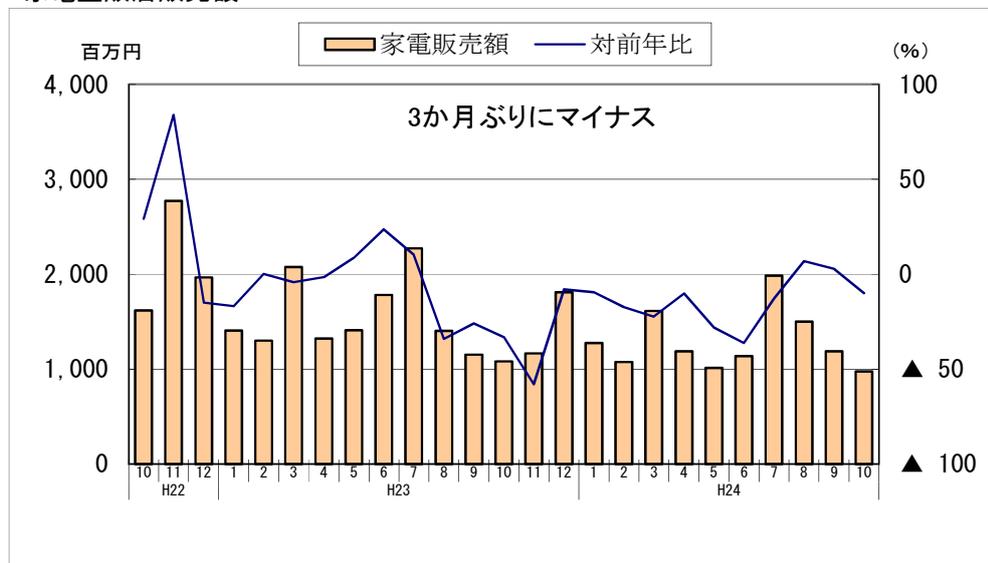
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

家電量販店販売額

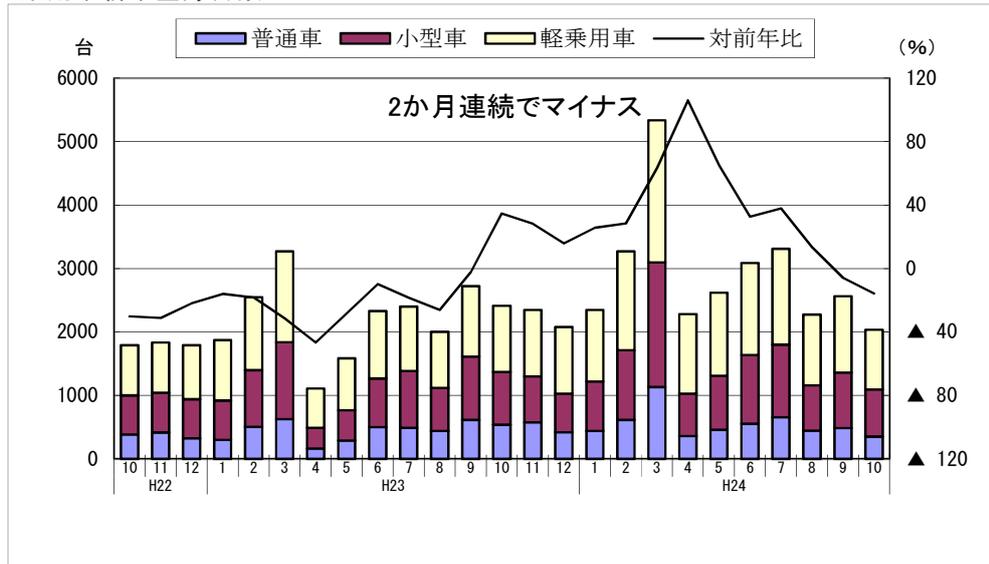


(中国経済産業局)

【 個人消費 】

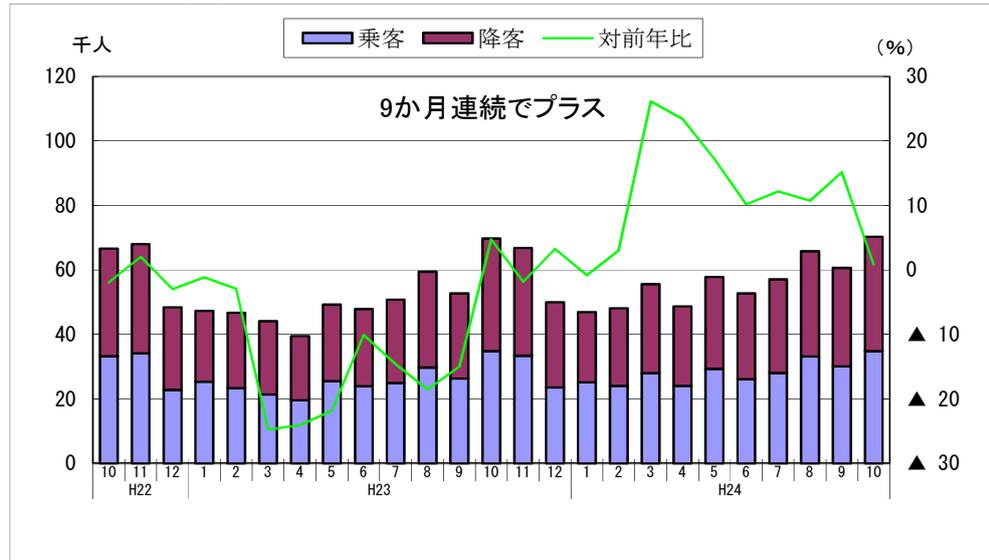
～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

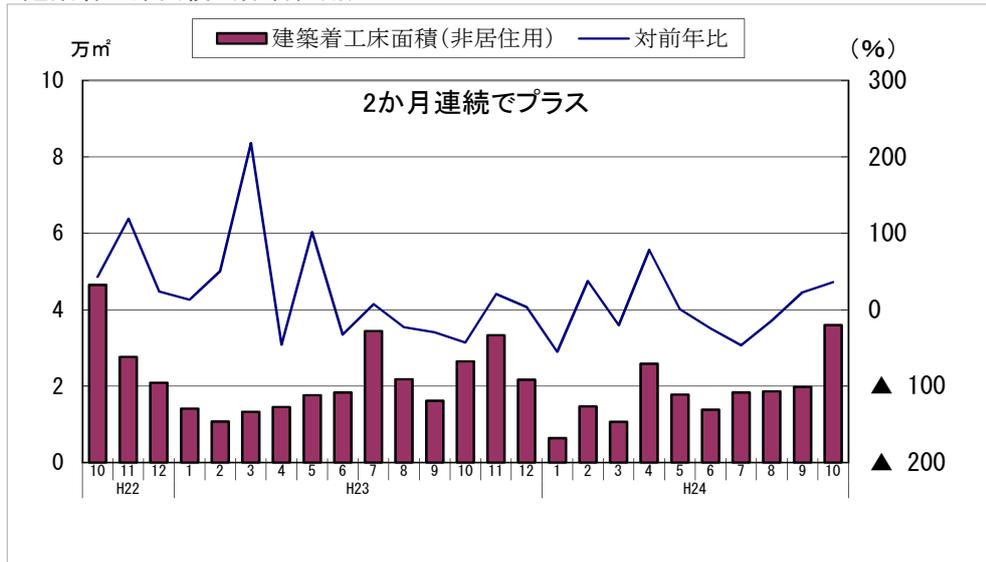
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

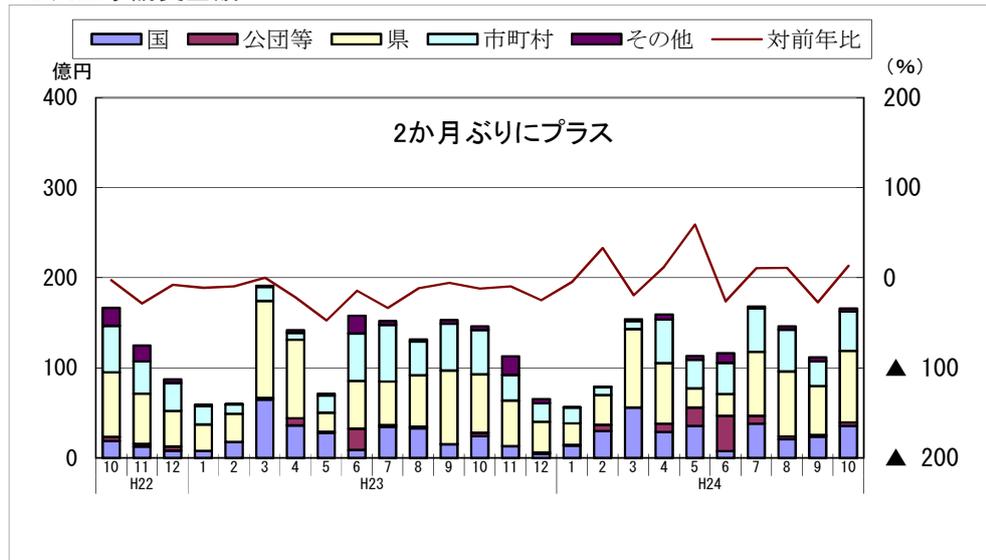
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



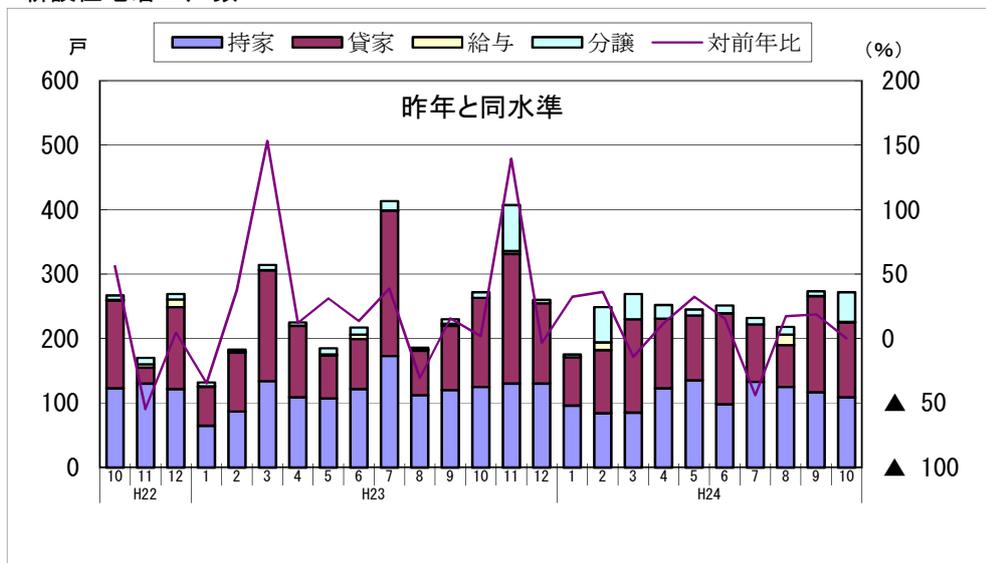
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

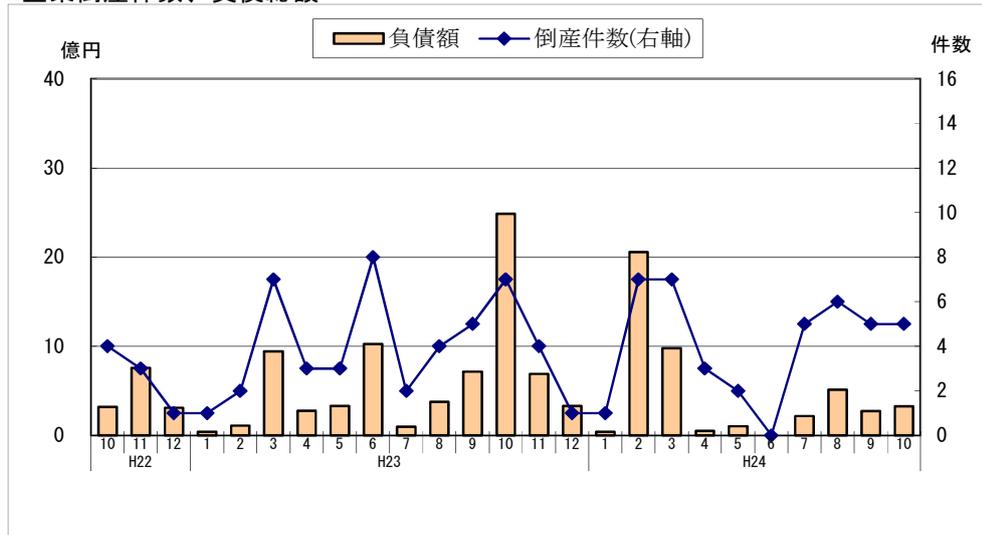
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数5件～

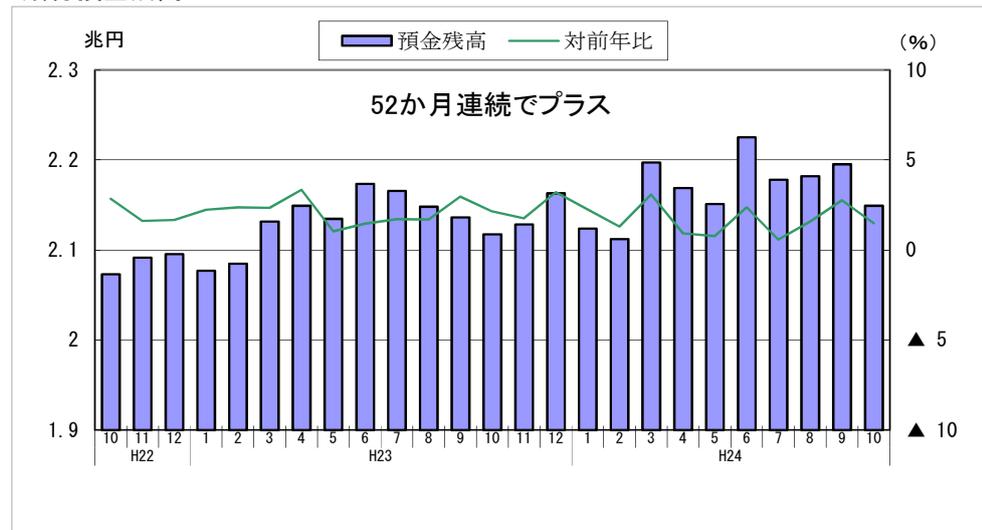
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

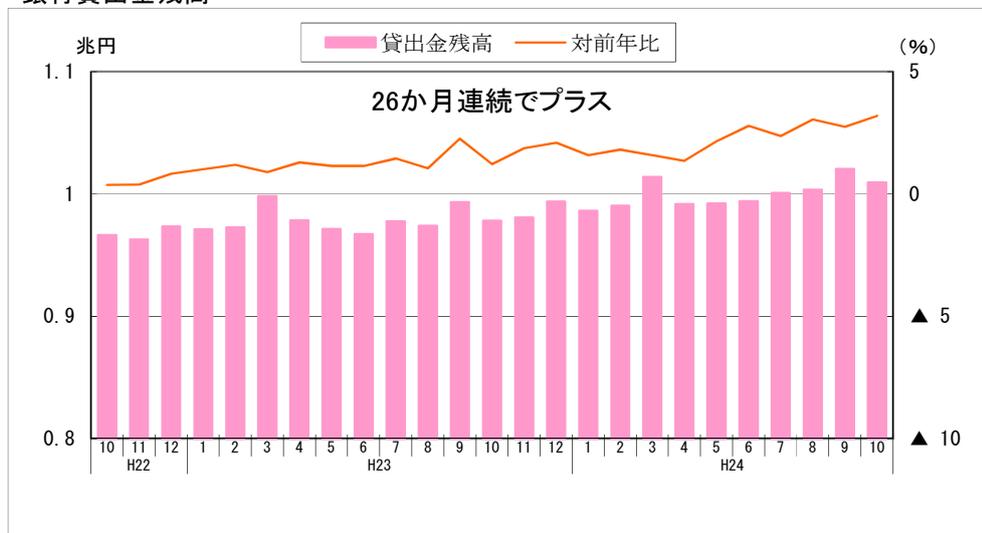
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年3.2%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

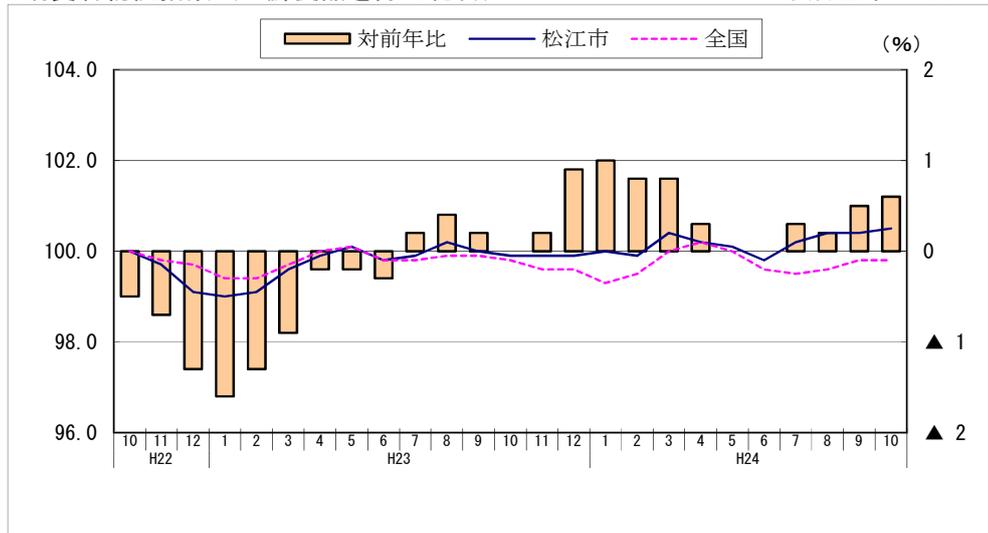


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.6%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

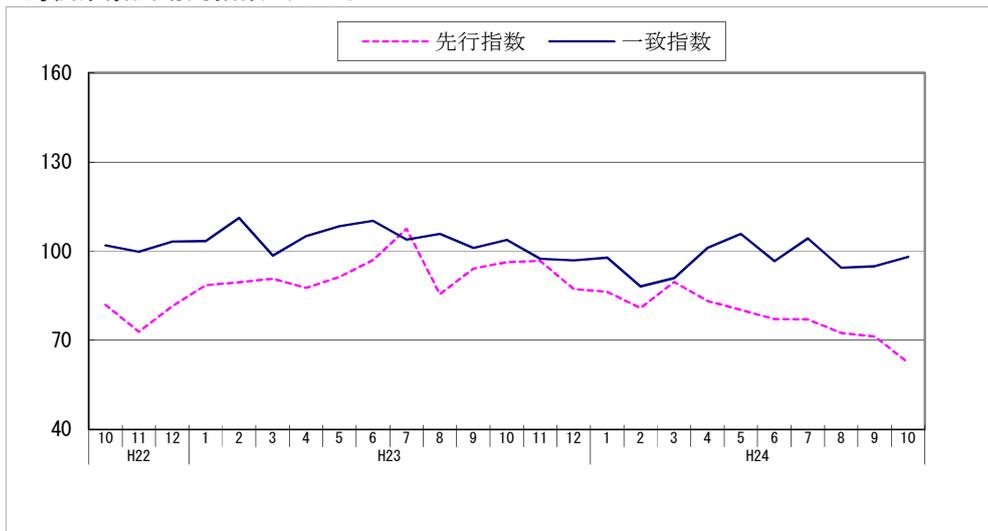
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成24年12月10日 財務省松江財務事務所)
平成24年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区分	24年7～9月 前回調査	24年10～12月 今回調査	25年1～3月 見通し	25年4～6月 見通し
全産業	▲ 13.7	(9.8) ▲ 6.9	(▲13.7) ▲ 9.8	5.9
製造業	▲ 26.5	(8.8) ▲ 14.7	(▲11.8) ▲ 8.8	5.9
非製造業	▲ 7.4	(10.3) ▲ 2.9	(▲14.7) ▲ 10.3	5.9
大企業	▲ 25.0	(▲12.5) ▲ 25.0	(0.0) ▲ 12.5	0.0
中堅企業	▲ 11.4	(22.9) 8.6	(▲17.1) ▲ 17.1	20.0
中小企業	▲ 13.6	(5.1) ▲ 13.6	(▲13.6) ▲ 5.1	▲ 1.7

※ () 書きは、前回 (24年7～9月期) 調査時の見通し。